

学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	野 崎 絵 美 【ライフサイエンス専攻 平成23年度生】	<p>本学位論文は、リゾリン脂質メディエーターの一つである、環状ホスファチジン酸 (cPA) とその誘導体の生物学的機能について、多面的に解析したものである。具体的には、酵素による加水分解に耐性な誘導体として2-O-carba-cPAと3-O-thio-cPAをそれぞれ有機合成し、がんの浸潤抑制やオートタキシン酵素活性阻害等の生物活性と光学異性体との関係を新たに解析した。また、cPAおよびその誘導体のオートタキシン結合親和性について、計算化学的手法を用いて酵素阻害活性と結合強度の相関性を予測し解析した。さらに、cPAの生合成酵素であるホスホリパーゼD2をがん細胞に強制発現させた実験により、細胞内で生成されたcPAが、がん細胞の浸潤・転移を抑制することを示した。これらの成果について、研究の背景や実験方法、結果、考察に分けて適切にまとめられている。</p> <p>本論文の成果は、関連分野の学会に数多く発表されている。また、査読付き英文学術雑誌に第一著者として3報、共著者として1報が掲載されており、関連研究分野の研究に貢献し評価されている。</p> <p>具体的な審査は、第一回審査会を平成25年12月27日、二回目を平成26年1月17日に行い、論文の構成や内容について審査した。その結果、上記の研究内容が評価されるとともに、論文内容について修正点が指摘され、学位論文改訂版の再提出を求めた。1月31日に本人による口頭発表（第三回審査会）を行い、実験の工夫点、結合様式、細胞内動態などに関して詳細な質疑応答を行うとともに、学力の確認を行った。また、再提出された学位論文改訂版について修正内容を確認した。これらの結果をふまえて、2月6日に公開発表会、ならびに最終審査会を開催した。その際の質疑応答からも、本研究での理解・解釈が十分であることが確認された。</p> <p>以上より本審査会は、本論文が本学大学院人間文化創成科学研究科における博士（理学）、Ph.D. in Biological Chemistry の学位を受けるに相応しいものと判定した。</p>
論文題目	The biological functions of cyclic phosphatidic acid and its derivatives.	
審査委員	(主査) 教授 小林 哲 幸	
	寄附研究部門教授 室 伏 きみ子	
	准教授 宮 本 泰 則	
	教授 小 川 温 子	
	准教授 相 川 京 子	
インターネット公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（可・否）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p style="margin-left: 20px;">ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p style="margin-left: 20px;">イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	